

「脳卒中急性期患者における横隔膜運動と嚥下の関連性」に関する研究について

公益財団法人天理よろづ相談所病院臨床検査部では2023年5月から2025年12月までの期間に超音波検査(腹部領域)を受けられた患者さんの横隔膜の厚みや運動量を計測し研究を実施しております。本研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」にご連絡ください。

□研究名

「脳卒中急性期患者における横隔膜運動と嚥下の関連性」

□研究背景・目的

脳卒中の急性期患者では片麻痺や全麻痺などの影響で嚥下(ものを飲み込む動作)機能に異常をきたす可能性があり、嚥下機能が低下すると誤嚥性肺炎を引き起こす可能性があります。嚥下機能評価には様々な方法がありますが、大きな機材を要する方法や麻痺の程度によっては施行が困難な方法もあります。

嚥下には呼吸が大きく関与するといわれており、呼吸筋のひとつである横隔膜の運動や厚みを超音波で計測することで、簡易的に嚥下機能が評価可能かを明らかにするため、研究を行っています。

□取り扱う資料および診療情報

超音波検査(下肢静脈および上腹部領域)時に計測した横隔膜の厚みおよび運動量を使用させていただきます。追加検査の必要はありません。

使用する診療情報は身長・体重、性別、年齢、基礎疾患です。

□個人情報保護の方法と管理

使用する診療情報は連結可能匿名化(暗号化)した後、研究に利用します。情報管理は臨床検査部内個人識別情報管理者(技師長 嶋田昌司)が実施します。

□倫理上配慮すべき事項

本研究は診療目的に依頼された超音波検査実施時に計測した値を用いるため、患者さんの負担になるような行為はありません。

本研究は(公財)天理よろづ相談所病院倫理審査委員会にて、研究に参加される方の安全性の確保、科学性に問題がないかについて倫理審査を受けており、承認を得て実施しています。

□研究成果の公表について

研究の成果を検査の向上・発展のため、学会に公表することがありますが、患者さんの診療情報は連結可能匿名化(暗号化)されていますので、第三者・本研究担当者に患者さんの情報が明らかになることはありません。

□研究への診療情報使用の取り止めについて

取り止めを希望される場合には、「問い合わせ窓口」にご連絡ください。希望を受けた場合、患者さんの診療情報を本研究に用いませぬ。取り止めることによる不利益はこうむりませぬ。

□問い合わせ窓口

この研究についてのご質問は、
天理よろづ相談所病院 臨床検査部 部長 上岡 樹生 連絡先 0743-63-5611
にお問い合わせください。

研究責任者

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 藤川 麻由美

個人識別情報管理者

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 技師長 嶋田 昌司